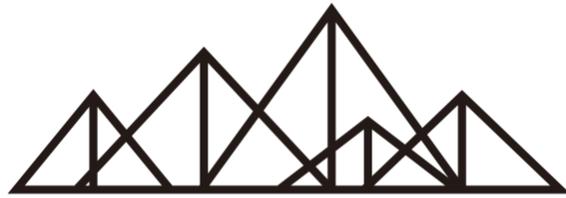


Vol.10



Take Free ¥0

赤城山観光情報紙

A K A G I F T

SPRING / SUMMER 2022



特集 赤城南麓の古墳を探る。

楠田で過ごす休日 田中商店 / 桐生和紙

おみせの物語

生き物好き女子が始めた、焼き菓子と雑貨の店。

灯螂舎(トウロウシャ)

Slow Walk 赤城山のツツジ 見頃、教えてください！

週末、東京から2時間の里山環境リゾート 赤城山

特集 赤城南麓の古墳を探る。

群馬県は古墳王国といわれ、全国的に見ても古墳が多い。そしてここ、赤城南麓には、約700基もの古墳が集中的に存在している。その理由は解明されているのだろうか。また、どんな特徴の古墳があるのだろうか。今回の特集では、専門家への取材を中心に「赤城南麓の古墳」を探ってみる。そしてその面白さを掘り起こしてみたい。

前二子古墳[MAP①]



実人プロフィール

群馬県教育委員会文化財保護課
#51 前原 豊さん
Yutaka Maehara

大室古墳群、山王廟寺の調査・整備に携わる。著書に、前橋学ブックレット「赤城南麓の覇者が眠る大室古墳群」がある。

赤城南麓の古墳といえば、「大室古墳群」。

世界的には古い時代の墓でも、そこに誰が埋葬されたのか判明しているものが多くある。エジプトの王墓や中国の始皇帝陵などは、日本で古墳が造られる以前の紀元前に造られたものだが、埋葬者は様々な史料などからはっきりしている。ところが、日本の古墳はそうはいかない。「誰の墓であるかをはっきり示す墓誌が残されていないので、埋葬者は分からないというのが常識なんです」と話すのは、前橋市教育委員会文化財保護課の前原豊さん。実際、赤城南麓に位置する大室古墳群の一つである、前二子古墳[MAP①]は、豊城入彦命の墓ではないかと推測され、1878(明治11)年に群馬県が本格的に石室調査に当たったという(豊城入彦命とは、古代日本の皇族で、第10代崇神天皇皇子である)。しかしながら、結果的に「陵墓」として治定されることはなく、発掘調査は終了を迎えるのだが、その後も前二子古墳の代わりに他の古墳が豊城入彦命の陵墓として治定された事実はない。

「前二子古墳の規模や副葬品などから、確か

なのは非常に大きな勢力を持った豪族がこの地方を支配していた。そのことに間違いはありません」と前原さんは続ける。

こうした調査結果の内容如何を問わず、当時の人々の興味は尽きるところか関心は異様に高まったようだ。石室から発掘された副葬品の展示が行われたのだが、交通の便が現代のそれとは比較にならない明治時代に日本全国から5000人以上の人が見学に訪れたという。その注目度の高さを物語るかのように、石室調査から2年後の1880(明治13)年、英国人外交官がこの地を訪れている。その名はアーネスト・サトウ(1843~1929)。天皇制や日本史に大きな興味を抱き、日本中を巡っていたのだが、この前二子古墳にも訪れて、出土品をスケッチしたり、測定したりして一日を過ごしたという。その内容をのちに講演で発表し、「上野地方の古墳群」として公表した。

アーネスト・サトウの来訪から実に111年という長い歳月を経て1991(平成3)年、大室公園として整備されるにあたり大室古墳群の発掘調査が行われた。前二子古墳はもちろんのこと、中二子古墳[MAP②]、後二子古墳[MAP③]らを含む、3つの前方後円墳が調査され、さら

に前二子古墳、後二子古墳に関しては、石室内まで見学できるように整備された。大規模な発掘調査であったが、豊富な副葬品が期待された中二子古墳の石室は、各種科学的方法で探索したが、未発見におわったという。「大室古墳群の中でもっとも規模の大きい前方後円墳であるにも関わらず石室が見つかっていません。タイムマシンがあれば分かるのですが、解き明かす術は今のところないですね」。

謎に包まれているからこそ、歴史には摩訶不思議な魅力があるのかもしれない。

大室古墳群のルーツを探る。

大室古墳群をはじめ、赤城南麓には多くの古墳が集まっている。その先駆けとなるのが、伊勢崎オートレース場の近くにある5世紀前半に造られた全長125mのお富士山古墳[MAP④]。「社殿のある後円部の頂上には、王者の棺といわれる長持形石棺が展示されています。赤城南麓を治めた王が埋葬されていたはず」と熱を込める前原さん。

長持形石棺はヤマト王権のお藤元の兵庫県



石室に副葬された土器

前二子古墳の石室の様子



産の「竜山石」を使って生産され、中央の大王や王の古墳に運ばれた。「お富士山古墳の石棺は地元の砂岩を利用してヤマト王権から派遣された工人によって造られた」と想定されるとのこと。

このほかの長持形石棺は、太田天神山古墳(全長210m)に存在する。詳しくは、江戸時代の古文書に記録されているが、お富士山古墳の長持形石棺ほどしっかり原型を留めているものは東日本では見当たらない。

5世紀までは石棺は、竪穴式石室に納められた。その方法は、墳丘の上から穴を掘って石室を造り、石棺や木棺に入れて埋葬していた。しかし、6世紀になると何度も埋葬可能な横穴式石室に変わっていく。このように竪穴から横穴式石室に型式が変化することによって多量の石材を必要とするようになる。



お富士山古墳の長持形石棺(長さ2.85m)



アーネスト・サトウは佐藤=satou、から由来するものではなく、スペルはsatow、生粋の英国人であるとのこと。

お富士山古墳[MAP④]

特集 赤城南麓の古墳を探る。



赤堀茶白山古墳[MAP④]

R 噴火で山が崩れ、南に流れる。

では、なぜ赤城南麓に大室古墳群をはじめ、古墳群がいくつも造られたのだろうかという疑問が湧き起こってくるのではないだろうか。

そもそも古墳というものはこういった場所に造られるものなのだろうか。前原さんに伺った。「古墳造りには石室のほかに墳丘を全面、石で覆うため、多量の石材が必要となります。利根川、烏川、鏡川、神流川などの大河川沿岸には多量の石材があるので古墳造りの最適地といえます。では、大室古墳群が造られた赤城南麓はどうでしょうか。粕川、荒砥川などがありますが、大きな河川ではありません。」

赤城南麓の河川は、古墳築造の石材が多量に採取できない。そこで古墳時代の人々が目をつけたのが、この地域一帯に存在する小高い丘陵



5世紀頃造られた伊勢崎市の赤堀茶白山古墳では豪族の館を模した家形埴輪が8体出土している。そのことから、豪族がいくつもの屋敷に住んでいたことが推測される。(東京国立博物館収蔵)

の巨石、通称「流れ山」とよばれた約20万年前に赤城山の噴火で運ばれた天然の豊富な石材であった。

「赤城山はもともと2500m級の富士山型の火山であったと言われてます。幾度となく噴火を繰り返し、頂上部は吹き飛ばされ、今の形となりました。流れ山は、約20万年前の噴火で引き起こされた土石流の流れが止まった跡です」と前原さんは説明する。

現在、「流れ山」は荒砥川から東の粕川まで、上毛電鉄から南の国道50号までの間に集中分布し、約50カ所を数える。「流れ山」の内部は直径3~5mを超える巨岩が多数存在している。

「大室古墳群のあたりが流れ山の中心部です。そういった地点を選んだのかもしれませんが、すぐ西にある安産の様で知られる産泰神社[MAP⑥]や南にある伊勢崎市の石山観世音[MAP⑦]の本殿の背後には巨石が露出しています」と前原さん。

ここでもう一つ重要なのが流れ山の巨石。



産泰神社[MAP⑥]

縦250m、横300m、高さ15m、産泰神社(前橋市)の流れ山。小丘全体が流れ山として考えられ、境内には巨石群を目にすることができる。



中二子古墳[MAP②]

取材

一歩だけ

前原さん曰く「大室古墳群のあるあたりから見た櫃石は古来、大物主大神が鎮まる山として信仰されたと記される奈良県の三輪山を思わせるなだらかな山並みの頂点にあるんです」とのこと。

白山古墳で見つかった8枚の和同開珎



古墳構築材ばかりではなく神が降臨する岩として祀られたことも判明している。その中心が赤城山中腹の三夜沢の赤城神社の背後にある櫃石[MAP⑬]である。

櫃石についてはAKAGIFT vol.7の特集でも取り上げているが、この櫃石は三夜沢の赤城神社の御神体ともいべき赤城山の象徴的存在と思われ、神が降臨する磐座である。櫃石からほぼ真南に、産泰神社や巨石祭祀遺跡の西大室丸山遺跡[MAP⑥]、石山観世音が存在する。発掘調査で明らかになった西大室丸山遺跡では巨石を中心に祭祀遺物が多数見つかった。前原さんは「大室古墳群の豪族たちは、祭祀を取り仕切るとともに流れ山の石材や南麓の木材などの資源を一括掌握した存在であったといえるのではないのでしょうか」と述べている。

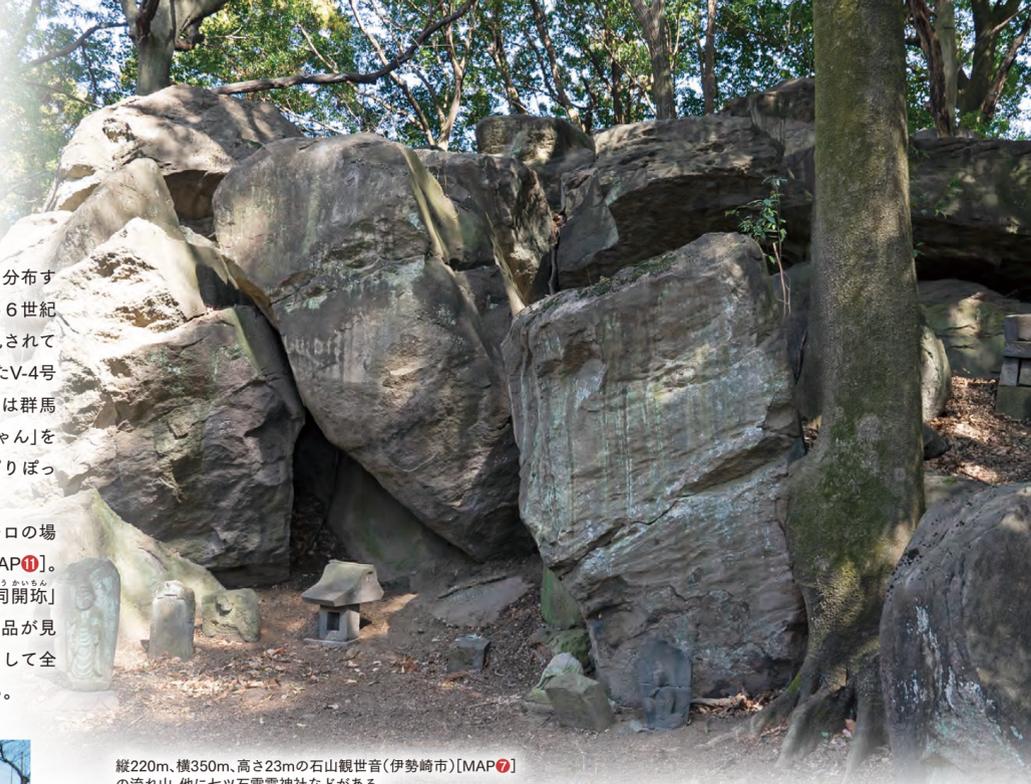
R 埴輪界のアイドルが出現!?

次に、赤城南麓の古墳の特徴的な出土品に注目してみよう。その一つは、赤城南麓標高200

白藤古墳群のぐんまちゃん埴輪



堀越古墳[MAP⑩]



縦220m、横350m、高さ23mの石山観世音(伊勢崎市)[MAP⑦]の流れ山。他に七ツ石雷電神社などがある。

R 古墳時代から飛鳥時代へ。歴史は連続とつながっていく。

時代を古墳時代から飛鳥時代以降にすすめよう。飛鳥時代末期681年、現在の高崎市南部に建立された山上碑の碑文に赤城南麓との深い関連を示す文字がある。山上碑は、多胡碑、金井沢碑とあわせて世界記憶遺産にも認定されている「上野三碑」といわれ、7世紀~11世紀に造られた国内に現存する石碑の中で最古の石碑群である。

この山上碑に刻銘された赤城南麓との関連を示す漢字とは「新川臣」、「大児臣」である。新川臣は、現・桐生市新里町新川のあたり、大児臣は現・前橋市大胡町あたりを支配していた人物を指し示す。

山上碑が建立された681年と時代をほぼ同じくして、大胡町から新里町新川の一角には中塚古墳[MAP⑨]や堀越古墳[MAP⑩]など、10数基がまとまって造られている。前原さんはこう補足する。「これらは6世紀の古墳築造ラッシュを過ぎた7世紀に造られており、この時代、県内の有力地域の一つであったことが分かります」といいます。

そして7世紀から律令制が敷かれる8世紀になると歴史の舞台は大きく動く。新川臣と大児臣の親戚にあたる山上碑を建てた人物「長利」という僧は、放光寺の管主であった。この放光寺は、東日本を代表する古代の寺院で国



中塚古墳[MAP⑨]

指定史跡である山王廃寺[MAP⑭]と同一の可能性が調査により判明している。赤城南麓から総社古墳群、放光寺、そして上野国府や上野国分寺のある前橋市元総社町や総社町一帯へと歴史が流れていったのである。



白山古墳[MAP⑪]



「放光寺」とへら書きされた瓦



国特別史跡・山上碑(高崎市教育委員会提供)

まとめ

大室古墳群をはじめとする赤城南麓を支配していた豪族が、赤城山に対する畏敬の念を抱きつつ、いち早く赤城南麓の「流れ山」に注目した。その恵みを利用して築いた古墳文化は、利根川を超えて広く高崎まで影響を残すような存在であった。やがて赤城南麓にも仏教文化遺跡が多数出現し、新たな時代へ突入していった。

「赤城南麓の古墳を探る。」ぜひ、記事で触れた古墳や遺跡に足を運んで、何か心にスケッチしてもらえたらうれしい限りだ。

梅田で過ごす e-休日



昔ながらのガラスの引き戸を開けたら、夢が広がっていた。
田中商店



タナカストアプロフィール
#52 田中商店 副店長 田中商店 店長
貝之瀬 沙季さん 貝之瀬 賢人さん
Saki kainose Kento kainose
みどり市大間々町出身のご主人の賢人さん、妻の沙季さんは桐生市梅田町出身。賢人さんはサラリーマン、アウトドアショップ勤務を経て妻の沙季さんと出会い、起業を決定。現在、店舗を兼ねた住宅で保護猫3匹と暮らす。

「こんにちは〜」。近所のおじちゃんおばあちゃんが食料品や日用雑貨を買いもつと、ママと小さな子が手をつないでやってきてアイスやお菓子を遊ぶ、そんなほのぼのとした光景が見られる「田中商店」。まさに地域に愛されるコンビニエンスストアという趣きだ。「実際、妻の祖父の代まで田中商店にあれば何でも揃うといわれるほど地域に溶け込んだお店だったようです」と話を切り出してくれた店長の貝之瀬賢人さん。昭和の時代に一旦はシャッターを下ろしたが、梅田周辺はスーパーやコンビニ、ホームセンターへ行くにも車がなければ生活が不便な地域。復活を望む声が高まり、この令和の時代に新たなコンセプトでリニューアルオープンした。

まちのコンビニエンスストア的な要素に加え、お店を切り盛りする貝之瀬さんご夫婦がアウトドア好きという特徴を生かして、選りすぐりのキャンプギアが並ぶアウトドアショップに。SUPやボート、釣りなどアウトドアのメッカである梅田湖方面へ行く手前の県道66号沿いにあり、観光客やサイクリストの人たちにとって立ち寄りやすいスポットだ。

「僕がキャンプを好きになったのは、以前、アメリカを1カ月かけてテントで旅をしたのがきっかけなんです」。店内の壁には、ワシントン、オレゴン、ネバダ、アリゾナなど訪れた各州の名がついたナンバープレートがいくつも飾られている。「1日1000キロほど車で移動しました。一人だったので気の向くままに。旅をはじめた時にまず用意したのは、薄いテント一つでした」。そこから本当に必要なものだけを買っていき、スタイルで巡った。その時のキャンプ経験はしっかりとお店づくりに生かされている。長年愛用できるようなアウトドアグッズを中心に興味関心のあるエコやサイクリングに関連する商品も取り揃えた。これまでに出会った人たちとのつながりを大事にしてきたからこそ巡り合えた商品も多い。

アメリカ横断の旅ですっかりキャンプ沼にハマった店長の貝之瀬さんは、群馬に戻ってからは赤城山の大沼湖畔にある県立赤城公園



存在感抜群のランプ。

氷の上でも座れるクッションだから赤城大沼の水上ワカサギ釣りにもいい。



学生時代は、自転車競技選手だったという賢人さん。店舗前にはサイクルラックを設置。こだわりのエナジーバーなどサイクリストにも嬉しい拠点。



ジュシーなソーセージがみつきになるホットドッグ。スープ付き。買い物をした後にアツアツで食べよう。



田中商店
桐生市梅田町4-324
TEL.0277-47-7808
10:00~19:00(土日祝日は9:00~)
定休日 火曜日、第1・第3・第5月曜



詳しくはこちら！

田中商店

FORESTRIP
大自然に囲まれたドッグパドック。おフェエのみの利用も可能

カフェレストラン Nils

ぐんま製茶
ずっと販路拡大の努力のある人向け

帰りに道田中商店さん自慢のクラフトコーラでのどを潤す！

梅田で過ごす e-休日

香雲堂 梅田店
AKAGIFT Vol.9掲載

茶葉で有名なぐんま製茶さんの工場。めずらしい茶葉の自販機！手軽なパウダータイプをお土産に。(工場見学の実施や直売所はありません。)

桐生市街地から約10キロ。
上毛電鉄のサイクルトレインを活用して西桐生駅からスタート！気になるスポットに立ち寄りながら、梅田隧道と呼ばれるトンネルを抜けたとすく梅田湖に。さらにその先は桐生川に沿って走るので体も心もリフレッシュされる。

香雲堂さんでおやつ！中でも手ようかんがお気に入り。

美しく澄んだ桐生川のせせらぎがBGMの「森林浴の森日本100選」に選ばれた桐生川源流林の雄大な風景の中を走ろう。

梅田ふるさとセンター
地場物を買える

桐生川

桐生和紙

ランチは雪の屋さんのおっけ込みうどん！お得なセットも

隣接の梅田湖公園サイパーク1月下旬〜2月にロウバイ、3月にはミツマタが咲き誇る。秋にはヒガバナも。

梅田湖
雪の屋
梅田大橋

梅田緑地公園

梅田大橋からダム風景を堪能！

桐生川ダム

梅田の豊かな自然とともに育まれた 桐生和紙

1年の中で、寒い季節こそ勝負である和紙づくり。梅田町にある桐生和紙の工房を取材で訪れたのは、繁忙期まっただ中、2月下旬だった。細かな不純物を見逃さないよう、全神経を集中させて行う「流し漉き」を目の当たりにする。両手を大きく広げたほどの木枠を上下左右に揺らすように動かして漉いていく橋さん。木枠とつながる糸をたどるように見上げると、天井に吊された細長い竹がこれでもかというほどしなっている。紙漉きの光景は、昭和半ばまで県内どこの農家でも盛んに行われていた機織りを彷彿とさせる。リズムカルかつ緩急のある動作から生み出され、一枚、また一枚と重ねられていく「和紙」は、今まさに命を吹き込まれた生命体のような瑞々しさだ。

和紙づくりに欠かせないのは自然のままの沢水だ。橋さんは独特の表現で「藻が生えるような桐生川の水質が適している」と教えてくれた。桐生川沿いに広がる桐生川源流林周辺は夏になれば涼を求めて足を運ぶ人も多い地域である。ここはかつて和紙の産地の一つであった。最盛期の江戸末期から明治にかけて生産農家の数は20数軒にものぼった。もともと夏場は畑を耕したり、蚕で生計を立てていたが、冬場に副業的に和紙づくりを行ったことがはじまりのこと。「桐生和紙は主に桐生のまちで重宝され、あちこちに出回ることが少なかったようです」。それゆえ、高い生産技術にも関わらず桐生以外では入手困難な「幻の和紙」となった。大正に入ると、洋紙の需要の高まりとともに生産農家は激減し、昭和30年代にはわずか一軒に。その頃6代目の祖父、星野富吉さんから、養蚕業種の指導員として勤め人であった橋さん

タナカストアプロフィール
桐生和紙職人
#53 橋三紀さん
Miki Tackibana
群馬県ふるさと伝統工芸士・桐生市指定重要無形民俗文化財技術保持者。桐生市梅田町出身。桐生和紙づくりを代々営む星野家の3代目。妻であり2人の娘の母でもある。現在、桐生市内の自宅から約10キロの工房へ毎日通う。



の父、増太郎さんが、10数年かけて週末になると技術の手ほどきを受けた。こうして「灯」は絶えることなく、未っ子だった三紀さんへと受け継がれた。そこから27年、結婚し、二人の子どもを育てながらの今、という根気の強さである。

工房隣の建物、桐生和紙独特のほんのり黄色みを帯びた色合いの暖簾をくぐると、レターセット、ブックカバー、しおり、ぼち袋などさまざまな品が並ぶ。「卒業証書や賞状など父の代から長く携わっている仕事をベースに、新しい商品化へのアイデアも尽きない」と目を輝かせる。その中で、もっとも大きい全紙サイズの「未ざらし」という和紙を手にとってみると、柔らかな風合いの見た目とは対照的な「パリッ」とした張りのある感触が伝わってくる。まるでそこに「意思」が宿っているかのようだ。「この感触、原料となる楮の栽培から手がけているから出せる違いなんです」と付け加えてくれた橋さん。これらすべての工程を自ら手がけた和紙を「真印」ブランドとして立ち上げた。「真」の一字は、祖先の一人であり、江戸末期の機屋で重宝されたという腕の良い和紙職人であった4代目「真吉さん」から拝借したものだ。その心意気こそ、約200年という歴史を刻む桐生和紙にさらなる深みを与え続けるに違いない。



工房隣の店舗では実際に手に取って、好みの一品を探せる。どれも素敵であれこれ迷うのも楽しい。

桐生和紙
桐生市梅田町5-7348
TEL.0277-32-0201
定休日 不定休
https://kiryuwashi.jp
※来店の際はホームページより要予約

詳しくはこちら！



大切な誰かに手紙を書きたくなるレターセットや、本の続きを読むのが楽しみになる可愛い花形のブックマーク。

今まさに流し漉きの工程を終えたばかり。寸分違わず重ねられていく「未ざらし」の和紙。



生き物好き女子が始めた、焼菓子と蟲雑貨の店。



昆虫が入ることでおいしくなる組み合わせで作った焼菓子。昆虫を使わないものとの食べ比べセットも人気。コオロギコーヒーなどドリンクもおすすめ。

赤城山の麓、荒砥川のほとりに建つ、古い倉庫をリノベーションした店舗「灯螂舎」。大澤葉那さんが2021年6月にオープンした焼菓子と蟲雑貨の店だ。“刺さる人には刺さる”空間を目指しているというレトロな雰囲気の店内には、ビンテージの昆虫標本などが飾られ、古道具や虫をテーマにしたアクセサリ、食用昆虫を使用したオリジナルの焼菓子が並ぶ。

近年、肉や魚に代わる良質なたんぱく質やミネラル源として食糧危機やSDGsの面から語られることの多い昆虫食だが、大澤さんは「世界には昆虫食文化の国がたくさんあるし、自分で調理して食べたらおいしかった。フルーツの香りや、ナッツの味わいなどバラエティに富んでいる。個性的な味や香りをぜひ楽しんでほしい」という。コオロギやカイコなどの粉末やペーストを使用しているが、焼菓子は、初めての人でもあまり抵抗がないよう、見た目には虫を感じないものになっているそう。昆虫を加えることで食味が良くなることを実感してほしいと、昆虫を使わ

い焼菓子との食べ比べセットも用意している。

東京都練馬区で生まれた大澤さんは、幼い頃から庭に自分でビオトープをつくるほど生き物好きの女の子だった。特にヘビやトカゲなど爬虫類が大好きで、30種類くらい飼っていたこともあるという。小学生時代の夢は爬虫類ブリーダーになること。昆虫はそのエサとして身近な存在だったのだ。社会人となってからは、東京の会社でWEBサイト制作を手掛け、数年前から群馬に移住してフリーランスで仕事を続けた。しかし、コロナ禍をきっかけに、自分の生業で生きていきたいと考えたとき、自身には身近であったが日本ではまだ食材として浸透していない昆虫に着目した。東京でよく訪れていた古道具店や雰囲気のあるカフェをイメージに、県内全域で物件を探した。300軒くらい目星をつけた中から、絞り込んだ一つがかつての自転車店倉庫だったこの場所。クラウドファンディングで資金を集め、半年後にはオープンにこぎつけた。

ゆくゆくは、内装を整えてカフェを併設したいそう。「昆虫入りお菓子を気軽に味わってもらったり、虫好きな人が集えるような場所になればいいな。思い描くイメージはバッチリ固まっているようだ。



灯螂舎(トウロウシャ)

前橋市大胡町97
営業時間 12:00~17:00
定休日 木・金曜日
E-mail info@tourousha.jp
https://tourousha.jp

詳しくはコチラ!



古道具や虫をテーマにしたアクセサリ・雑貨が並ぶ落ち着いた雰囲気の店内。

Slow Walk

赤城にはツツジの大群落がありますが、それは、降雪とツツジにとって良い環境が存在するからです。ツツジの間には毒のあるものも多く、牛や馬が食べないことも大きな要因です。ここでは、代表的なツツジの咲く時期、場所をご紹介します。

赤城山のツツジ

見頃、教えます!



文・写真
特定非営利活動法人 群馬県自然保護連盟 理事
棚橋 弘



麓山から覚満淵



アカヤシオ



レンゲツツジ



シロヤシオ



トウゴクミツバツツジ



サラサドウダン

5月上旬。枯れ山を彩るのは「アカヤシオ」。麓山、横引尾根、駒ヶ岳の大沼側斜面、荒山など苔むした岩稜を好み、葉が出るより先に開花するのが特徴です。一面ピンクに染まった麓山は、登山をしなくても隣接する鳥居峠駐車場から楽しめます。

6月上旬。新緑に彩られて一斉に開花するツツジたち。「レンゲツツジ」は新坂平、覚満淵に多く、覚満淵では「ズミ」の群落とほぼ同時に開花します。日当たりの良い場所を好み、放牧が行われていた場所に群落を作っています。

「シロヤシオ」は花柄が長いので、俯いて咲く姿が清楚で可憐です。小沼湖畔、駒ヶ岳の大沼側斜面に多く見

られます。小沼駐車場から1時間弱で小沼1周することができ、アップダウンも少なくお勧めのコースです。

シロヤシオとほぼ同時期に咲くのが、「トウゴクミツバツツジ」。雄しべが10本あるのが特徴で、小沼湖畔からオトギの森にかけて多く見られます。「サラサドウダン」は半日陰を好み、小沼湖畔に大群落があります。

この時期、外輪山の尾根歩きはどこでもツツジが楽しめます。

5月上旬・6月上旬、何れも1週間程度のズレがありますので、下記の「Akagi Trip」HPや赤城公園ビジターセンター(027-287-8402)で開花状況をご確認の上ぜひお出かけください。

お詫びと訂正のお知らせ

2021年発行 AKAGIFTvol.9につきまして記載内容の一部に誤りがありました。下記のとおり謹んで訂正させていただきます。

4ページ 与謝野晶子関連資料3点

誤 群馬県立土屋文明記念文学館所蔵
↓
正 画像提供/群馬県立土屋文明記念文学館



https://www.akagi-trip.com
赤城山ツーリズム地元推進協議会



information

A K A G I F T

×



AKAGIFTはクチコミサイト「ぐんラボ!」とくらボ!,スポットの最新情報やクチコミをチェックできるようになりました!お出かけの際は各QRコードに、ぜひアクセスしてみてくださいね!